

ジャケット表1



「聖夜、愛犬がビデオデッキに詰まる」

なんたって僕はリア充で
今夜は彼女とデートなのさ
豪華なディナーも予約済みで
夜景を背後に愛を語る

つもりさ

待ち合わせは17時半
余裕を持って準備をする
ハイブランドのスーツまとめて
玄関に手をかけた時

何かが絡まる音がしてリビングのドア開けた

せっかくのクリスマスにお前は何をしてるんだ
なぜそこに入ろうと思ったそしてなぜ入れた
突き出す頭と前足 慎重に後ろから入ったな
どうせアホならアホらしく頭から突っ込めよ

苦しそうに呻くでもなく
抜け出そうともがくでもない
寂しく洗んだその瞳は
巻き戻しボタン見つめてた

そんなアクロバティックなタイムマシンがあるか

せっかくのクリスマスにお前は何をしてるんだ
過去に何をしたというんだ 何をやり直す気だ
分針は真下を差し振れる携帯の理由は
寒空で僕を待つ彼女
なんて説明しよう

せっかくのクリスマスにビデオデッキを分解する
残念そうな顔するな犬 お前のためにやってんだ
サンタクロース 聞こえるか
今僕が欲しい物は
「なんてスタイリッシュな虐待！」
と言わないレスキュー隊

「脱獄したら尾てい骨なくした」

どこで落としたのかな
まさか取りに帰るわけにもいかない
独房(へや)に置いてきちゃったかな
ポケットの中にもないみたいだし

わざとお皿を割った欠片で
コツコツベッドの裏を掘ってた
人が通れるギリギリの大きさの
俺だけの天空住民票

部下に無理矢理昼を食わせたくらいで
6年も食らうとは思ってなかったんだ

どこかで落としたのかな
自分で掘ったトンネルの中かな
それとも高い塀を乗り越えた時
有刺鉄線に引っかけたかな

どこに行った 俺の尾てい骨
今は誰の尾てい骨になってる？
何も言わずいなくなるなんてズルいよ
これからもずっとそばに居て欲しいよ

どこで落としたのかな
囚人服の中にくるまっているのか
まさか骨付きチキンの骨だと思って
捨てたのが俺のだったか



「ゴブリン流通センター」

ゴブリン!ゴブリン!流通センター!

村長!村長!
それが村長のすることですか!?
僕らの!僕らの!
村に疫病がやってきた!

ギョウ虫おじさんの天然痘ボックス
(開けたらメルヘン!)

運べや運べ 希望のゴブリン
ベルトコンベアに明日を乗せて
回せや回せ 希望のゴブリン
僕らを救いに来て

「お電話ありがとうございます。
こちらゴブリン流通センターでございます。
うわあああああああああああああああ!」

ゴブリン!ゴブリン!流通センター!

かいわれ!かいわれ!
かいわれなんかで大丈夫ですか!?
馬肉の!馬肉の!
ユッケに出会った村なのに!

大きめの寄生虫 不本意な友達
(揺れたらサイコン!)

運べや運べ 希望のゴブリン
ベルトコンベアに明日を乗せて
回せや回せ 希望のゴブリン
僕らを救いに来て

ゴブリン!ゴブリン!流通センター!

「不発弾しゃぶしゃぶをサボる」

「もしもし、ゆみこ?
あのね、いい不発弾を掘り起こしたの!
しゃぶしゃぶにして食べようかと思うんだけど
よかったら来ない?」

行かない
危ない
怖い
食べ物じゃない

「もしもし、ゆみこ?
もう始めちゃったけどいつでも来てね!
良子と静香はもう来てるよ。
そろそろ不発弾投入するから早くね!」

やめろ
食うな
死ぬぞ
投入言うな

「もしもし、ゆみこ?
早く来ないと全部食べちゃうよ!
良子と静香はもうお腹いっぱいだって。
せっかくだから食べてよね」

マジか
お前ら
マジか
もう手遅れか

「もしもし、ゆみこ?
なんで来ないのよ!
大事な不発弾だったから一緒に食べたかったのに!
私たちの友情ってこんなもの!？」

お前の
友情は
命と
引き換えなのか

「ここにあったシクラメン食べたの誰？」

顔のアス比はおかしいけれど
とてもやさしい彼にもらった
ピンク色の花束
枯れて欲しくなくって
ずっと見つめていたくて
大切に大切に飾ってた

なのにある日家に帰ると
花瓶はからっぽになっ
ていて
近くには小皿とお箸が
無造作に放置されていた

ここにあったシクラメン
食べたのは誰ですか
日当たりのいい窓辺を
飾った私の宝物
私の日々を彩った
大切な花束を
ゆず胡椒でおいしく
頂いたのは誰ですか

顔の余白は多いけれど
とてもやさしい彼にもらった
瑞々しい花束
いつまでも窓辺で
鮮やかでいてほしくて
大切に大切に飾ってた

だけどある日家に帰ると
茎から全部なくなっ
ていて
花瓶の中の水さえ
すべて飲まれていた

ここにあったシクラメン
食べたのは誰ですか
力強くと伸びた茎を
ソーメンにでもしたん
ですか
寒い冬の中でも
凛々しく咲き誇る
花卉をレタス感覚で
シャクシャクいった
のではないですか

ここにあったシクラメン
食べたのは誰ですか
和名が「豚の饅頭」だからって(マジで)
デザートにしないで
いたいただきたい
ここにあったシクラメン
食べたのは誰ですか
言つとくけど一応
有毒な部分があるん
ですからね

「脂身がのどにプラーン」

いいお肉だ
実にいいお肉だ
ステーキにしよう
私はレアが好きだ

ちょっと無理して買ったお肉
気合いを入れて焼くんだぜ
今日のご飯はお茶碗じゃなく
白いお皿に平盛りだぜ

脂身がのどにプラーン
今にも「オエッ」ってなりそう
こんなにもおいしいお肉なのに
とんだ殺傷兵器だぜ

ジューシーだ
ひどくジューシーだ
ステーキにしよう
ウェルダンも好きだぜ

ナイフとフォークとランチマットも
今日の為に買ったんだぜ
焼くのも失敗ないように
ハンペンで練習したんだぜ

脂身がのどにプラーン
ちょっと空気を読んでくれ
ジューシーで香ばしいお肉なのに
まるで生物兵器だぜ

「ドリル出べそ外交官」

右手で握手をしながら
左手で殴り合うのが外交さ
なめたらいかんぜ
こっちには手以外の武器があるんだ

使う使わないの話じゃなく
持つ持たないの話さ
シャツの上からも見えるだろう
このいきり立つタワーが

グリグリ抉るぜ
国際法で定めされた領海の境界線
いつでも出せるぜ
最強の切り札 俺のドリル出べそ

被害者も加害者もないんだよ
当事者であるだけさ
正解は結果が決めるのさ
さあ磨けその出べそを

ギリギリバランス
弱みが見えるのも誰か脅かすのも一緒さ
バランス崩して
その結果はどちらも大戦なのさ

ゴリゴリ抉るぜ
国際法で定められた南北の限界線
いつも磨いてるぜ
最強の切り札 俺のドリル出べそ

「荻窪で豚を養う」

僕の大好きな豚のブー
小さな頃から友達なのさ
毎日一緒に荻窪を
散歩してお空を見る

僕が10歳の時
ブーはもうおじいちゃん
あんまり早くは歩けなくなった
のんびり歩く荻窪の夕焼けは
いつもよりもなんだかキレイで

ゆっくり歩いていいんだよ
僕もゆっくり歩くから
一緒にいられる時間が
増えてうれしいんだ

ブーが左の後ろ足を
引きずって歩くようになったから
毎日歩いた荻窪を
今日も歩き病院へ

やさしいお医者さんが
真剣な顔で話す
「ブーの足はとても重い病気で
足を切らないとブーは死んでしまう」
僕の頭はもう真っ白だ

そんなはずない昨日だって
いっしょに歩いたんだ
確かに速くはないけれど
病気のわからないじゃないか
僕は何も言えず泣きながら
ブーの足を撫でていた
僕は信じないぞ

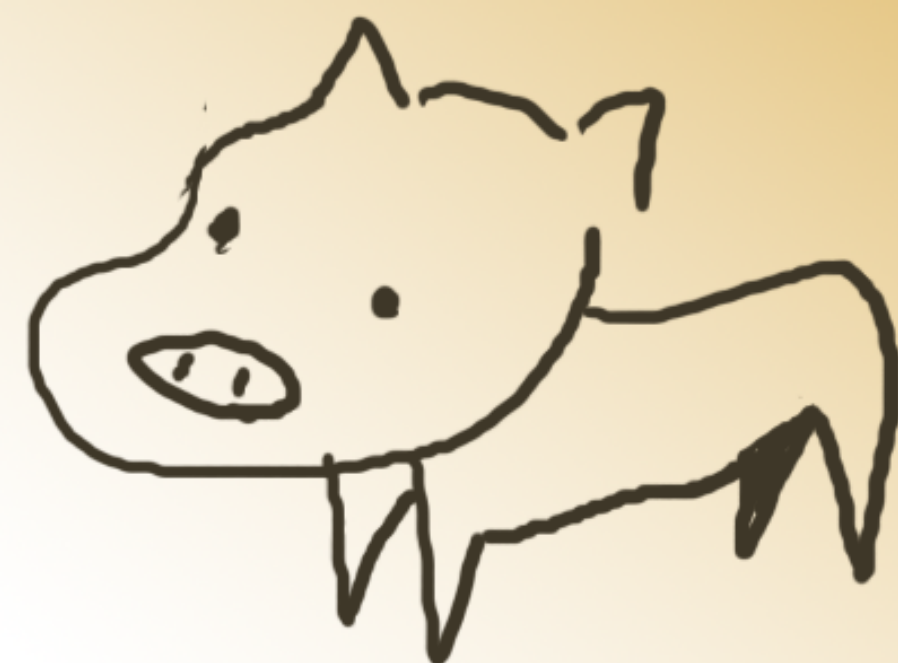
夜中にこっそり家を出て
ブーを連れて逃げるよ
足を引きずってついてくる
ブーをよく見れなかった

暗い暗い夜の街
鳴り響くクラクション
ブーが僕を突き飛ばす
トラックがブーを突き飛ばす

僕はもう幸せだから
悩むのをやめてよ
どうせなくなる命なら
君のためにつかわせて

君の声が聞こえた気がした
君は豚なのに

僕の大好きな豚のブー
小さな頃から友達なのさ
毎日一緒に荻窪を
散歩してお空を見た



どうも、家の裏でマンボウが死んでるPです。
早くも2枚目のアルバムを作ってみました。
お手にとっていただき本当にありがとうございます。
2ヶ月半で8曲という無茶なスケジュールでしたがなんとか間に
合って良かったでございます。と、こんなこと書いていますが、今これ
を書いている時点では5曲しかできてません。大丈夫なんでは
しょうか。きっと大丈夫でしょう。

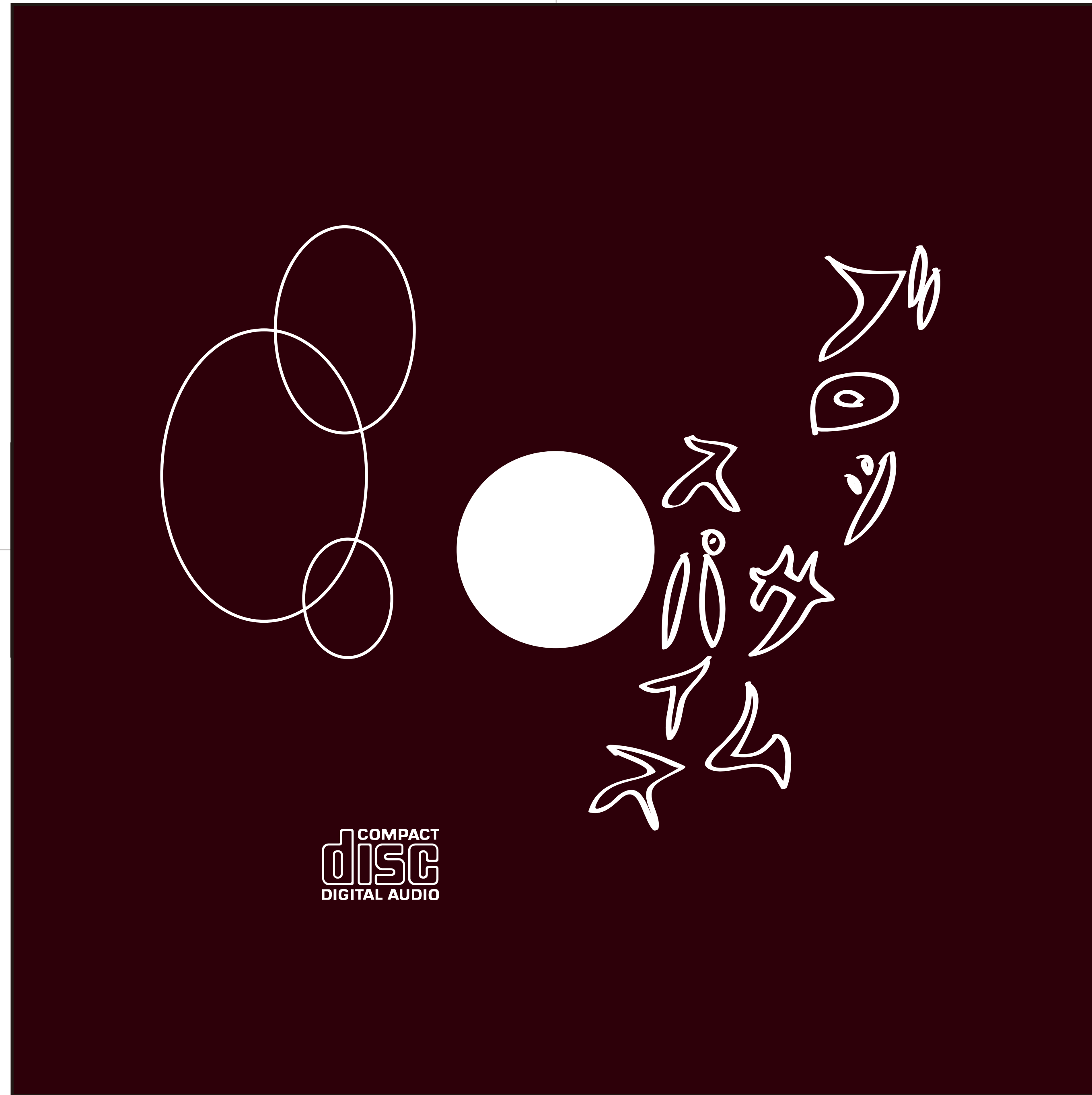
この写真は多分18歳くらいの時のです。
はしゃいでいますね。
これはケンタウロス試作機です。
家で一人で作って一人で装着して一人で写真を撮りました。
かわいそうですね。
明日からもがんばって生きてみます。

ブログ : <http://ameblo.jp/ienourde/>
twitter : http://twitter.com/#!/takahashi_manbo
マイリスト : <http://www.nicovideo.jp/mylist/13745664>



All Songs & Lyrics
by 家の裏でマンボウが死んでるP

ディスク



1. 聖夜、愛犬がビデオデッキに詰まる
2. 脱獄したら尾てい骨なくした
3. ゴブリン流通センター
4. 不発弾しゃぶしゃぶをサボる
5. ドリル出ベソ外交官
6. 脂身が喉にプラーン
7. ここにあったシクラメン食べたの誰？
8. 荻窪で豚を養う

